

わ  
『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

作成年月日	平成21年11月11日
作成部署	建設交通部 道路建設課

事業名	国道372号(湯ノ花)地方道路交付金事業	地区名	亀岡市 田野～本梅
概算事業費	20億円	事業期間	平成7年度～平成24年度
事業概要	現道の拡幅と線形の改良を実施し、あわせて歩道を設置することにより、安全で円滑な交通を確保する。 道路築造工：延長1,100m 幅員11.5m(2車線) 片側歩道(3.5m)		
目指すべき環境像	本事業地周辺は自然豊かな地域であり、湯ノ花温泉街が近接していることから、景観や自然環境、生活環境に配慮した道路整備を目指す。		
関連する公共事業	なし		

	評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点	選定要否			
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO <sub>2</sub> 排出量等)	○	現道は幅員が狭く歩道が未整備なため、車の速度低下によるCO <sub>2</sub> の排出量増加の一因となっている。  河川付替工事に際し、生態系の保全に配慮する必要がある。	事業実施により交通の円滑化が図られることから、CO <sub>2</sub> の排出量の削減が期待できる  河川護岸には植物が繁茂しやすい緑化ブロックを使用することで、生態系の保全に努めます。	4
	地形・地質				
	物質循環(土砂移動)				
	野生生物・絶滅危惧種	○			3
	生態系	○			3
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	○	現道は幅員が狭く歩道も未整備であるため、自転車歩行者の安全性を高める必要がある。  湯ノ花温泉街に近接しているため工事中の騒音・振動への配慮を行う。  事業の実施により発生する建設残土の抑制を図るとともに資源の有効利用に努める必要がある。	全線にわたり段差の少ない歩道を計画することで通行者の安全を確保する。  工事の実施にあたって低騒音・低振動の施工機械を採用する。  建設残土を他の公共事業に流用し有効利用を図る	4
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動	○			3
	廃棄物・リサイクル	○			4
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	○	事業予定地周辺は自然豊かな地域であり、また湯ノ花温泉街に近接しているため、景観に配慮する必要がある。	付替工事を行う山内川護岸に、景観に配慮した緑化ブロックの使用を図る	3
	里山の保全				
	地域の文化資産				
	伝統的行事				
	地域住民との協働				
	その他				